

町田市議会議員・情報公開の街

# 吉田つとむ

交通文化都市・4期連続トップ当選



## 大学祭：玉川大・理科大はトップ級の出来

例年、大学祭の見学を行い、優劣得点評価する

今年も大学祭を10校ほど見学しました。大規模でもお祭りに終始している大学もあれば、ゼミに発表の場を設定しているものもあります。屋台を出してサークルの資金稼ぎの場となっている大規模学祭も見かけるし、出会いの場となっている大規模大学の大学祭もあります。



昨年、今年の見学で評価すると、前号までに記載したとおり、一番の評価は東工大です。規模も大きく、出し物や企画、発表の数々が充実しており、研究室の公開も来訪者を楽しませてくれます。また、中高生はもちろん、小学生が来ても楽しく勉強できる場もあります。そうした意味では、それに準じるのは、地元の玉川大学と東京理科大学が東工大に続く充実ぶりです。学生参加、教授陣もかかわる全学の連携が整っています。玉川大学は芸能人を呼んで人集めをすることより、芸術学部生の発表も含めて全学が一体になっている点が優れています。理科大は研究室ツアーなど、大学の公開度が高く、広範な学校の中高生にも人気がありました。

それらに比べると、東大、慶応、法政、青山などは単にお祭りの傾向が強く、出店の賑わいの繁盛店の様相で、その一部では「出会いの場」の感も漂っています。

## 農業Week：中国・韓国・台湾と日本

東京ビックサイト、東京フォーラム等も見学

大型展示場の「幕張メッセ」で毎年盛大に開催される、今年の農業Weekでは、外国企業の出展が目立っていました。特に、中国、韓国、台湾の企業が国ごとのブロックに分かれて展示スペースを持ち、見た目には複数の企業が同一分野の商品を競って紹介しているかのようでした。スマート農業分野では、最新の農業機器を並べ、資材分野では肥料のPRが圧倒している様相でした。



それらの国々の家電、半導体、EV製品が躍進していることは承知していましたが、農業機器材、資材分野にまで及んでいることは知りませんでした。もとより、今年の農業Weekの出展においても、中国企業製のドローンが多数を占めていました。

今年の展示会では、そうした先端製品だけでなく、一般の産業（農業）製品まで、日本企業製品に同等以上の製品が出ていました。それを見ると、中国・韓国・台湾はすでに日本を越す分野を持っており、東南アジアの諸国ともお互いに性能を競い合っている分野が展開しているはずであり、日本はそれらの国々の技術の発展に対等な視線で目を向けるべきでしょう。

◎ インターンシップは、本会議や委員会の会議を身近に傍聴したり、行政機関の仕事・施設を訪ね、見学・インタビューできる日程を組んでいます。また、民間企業の経営者の方や過去のインターン体験者の話を聞ける機会も設定しています。

大学祭の10校ほどを見学評価は毎年行っています。見学希望があればお知らせください。

# 町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
(町田市庁舎 3F)  
☎042-724-2171  
「無所属」会派室



## 市長の期末手当引き上げに反対討論：可決

市長期末手当の引き上げに会派の総意で反対討論をしました。平成26年(2014年)の時には職員給与(現在は市長も連動してアップ)にも、正規職員が引き上げ、非正規職員が据え置きでは納得できないという理由で反対討論したことを今回の討論で改めて紹介しました。今回も非正規職員の待遇改善は明確ではありませんが、物価上昇を考慮し、タイトルのように市長の期末手当の引き上げ反対のみに絞って反対意見としました。結果は25×10で市長の期末手当引き上げが可決されました。市長の期末手当の引き上げに反対したのは、会派では、「無所属」会派と共産党の2会派と、諸派の維新の会の2名、及びその他の議員1名でした。

討論で述べた趣旨は以下の通りです。町田市議会議員は、報酬月額が平成9年(1997年)に引き上げがあり、令和5年(2023年)の今日までの26年据え置きが続いています。議員定数では、平成14年(2002年)の改選から40名→36名に4名減員し、現在に至っています。人口数に比べ、議員数が少ない議会となっています。他市では市長・議員の双方の引き上げが実施されており、町田市は市長だけ引き上げという片輪走行だと改めて紹介しました。



無所属会派は3名の政党無所属議員で構成

## 本会議質疑：プラスチック収集処理の将来

町田市は南地域(JR横浜線以南の地域)で容器包装プラスチックの収集、中間処理を2016年度よりスタートさせています。本来はその事業が市内一斉にやるべきものですが、行政の怠慢で他地区では今日まで一般ごみ扱いで収集、処理を行っているものです。そのために、町田市は多摩26市の中で資源化率が下位に低迷している現状です。参考：一般質問2023年3月：1人1日当たりの資源ごみ化は、26市中21位と答弁があります。



今回の予算で相原地域の中間処理施設建設事業が廃止にされ、2026年度からの建設準備スタートに延期された内容になっていました。併せて、上小山田地域の建設計画はさらに先送りになる見込みが今回の質疑で明らかになりました。このままでは、南地域の皆さんに説明がつかないと再三、会議で述べてきましたが、町田市は改めて、容器包装プラスチックの収集事業のみを市内全域で実施することに計画変更したものです。行政としては自区内処理をするべき資源化施設が必要ですが、市長と行政の怠慢が、その処理を市外で行う結果に至りました。市は容器包装プラスチックの収集の広報を来年からするというものですが、南地区では無用な混乱が起きることを指摘しました。

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、会派「無所属」は自由に賛否を決める場合もあります。

◎住民請願は事務局に提出、相談して下さい。署名が必要なものは会派に連絡して下さい。



良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

町田市議会議員  
会派「無所属」に所属  
吉田 つとむ  
自宅 042-795-7361(TEL&FAX)  
yoshidaben@gmail.com



## 清溪セミナー：泉 房雄氏 (前姫路市長)

超党派地方議員が参加する第28回清溪セミナー(会場：日本青年館)に参加しました。その講師の中に、泉房雄氏(前明石市長)があり、直近まで全国で最も有名自治体市長で、現在でも全国各地で講演をされています。元衆議院議員、弁護士、社会福祉士とご自身で説明さえ、講演は3期12年市長としてどのような市政を作ってきたかと言うものでした。こども施策を中心にすえて市政を転換させて成果を述べられました。



泉房雄氏は、前明石市長として、次々と子ども施策を打ち出し、明石市を発展させ、政治家として高い評価を定着させてきました。歯に衣を着せない発言で反感を買ったり、あるいは敵を作りました。議員の多くは反泉派であるように思われましたが、首長が議会に対して圧倒的な力を持っていることを証左してきました。泉房雄氏が提起、推奨した施策は全国の自治体首長に支持され、いや、それ以上に地方議員に支持されています。地元の明石市では、議会に強力な反対派が存在しましたが、他の地方では首長と地方議員双方に支持されるのではないのでしょうか。今後、大阪維新の会と異なった、あるいは対立する施策を持って、地方自治体の主流派争いを展開してくるのではないのでしょうか。

## 高校生と市議のパネルディスカッション

都立小川高校生の3年生全員と町田市議会議員(全会派から各1名の6名)のよるパネルディスカッションが開催されました。担当の先生(公民の授業担当)が熱心で、校長先生の理解で実現したものです。そもそも小川高校からの提案でした。高校生が政治に関心を持つこと、政治を身近に知ってもらうことが目的で、地域の議員の仕事を知ること、地方政治に興味や関心を持ち、地方政治に自ら参加しようという意識を育成するために開催されたものでした。都内の高校でもこうした実施例は極めて珍しいということでした。◎質問と回答の趣旨は以下の内容でした。

**質問1**：なぜ議員になったのか？きっかけは？いつから議員になろうと思っていたか？

**答え1**：人の役に立ちたいと思い、国会議員の選挙に出たが何度も落選。市議選から再スタート、それも1回落選。選挙は全部で15回、8勝7敗。

**質問2**：議員は普段なにをしているか？

**答え2**：少数意見の声を議会に届けるため、市民の声を聞いたり、勉強のためにあちこち見学や研修に出かけ、その報告書を書くことに時間を使っている。

**質問3**：町田市をどう思っているか？町田市にどのような課題があるか？今後、町田市をどのようなしていきたいか？

**答え3**：高校生など若い人が学校以外で集まり、話し合うことができるような場所が少ない都市だと思っている。お金が使わなくても、夜の時間にも若い人が勉強もでき、楽しく集まれる環境づくりが必要だと考えている。



都立小川高校の文化祭を訪問した際の写真

◎町田市議会の所属委員会や個別の会派では、それぞれに行政機関や他の議会を対象にした地方視察を行っています。上記の掲載する記事は、それらと異なり、個人で民間の展覧会や公的施設に直接申し込みを行い、現地見学したのものも含んで掲載しています。

◎これらの個人で行った見学・インタビューも、議会の一般質問や質疑に活かしています。

# 町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野2-2-22  
(町田市庁舎3F)  
☎ 042-724-2171  
「無所属」会派室



会派室で打ち合わせ中

## 一般質問：川西町の災害復旧と町田の支援

山形県川西町は町田市とダリア園を通じた交流があります。その川西町は、昨年8月の台風で大きな災害を被りました。大量の雨が降ったことで水害が発生したもので、2千戸にも上る住宅地に全壊・半壊や浸水などの重大な被害をもたらしました。町田市はその川西町と災害時相互応援協定を結んでおり、依頼を受けて災害出動を行っています。内容は「ごみ収集作業」(環境資源部)と「建物の被害認定調査等」(財務部)の担当で、数週間の期間、人員と車両を派遣しています。こうした協定による応援は、長野市の水害時にも同様な人員と車両を派遣しています。\*阪神大震災時には、大勢の負傷者が発生し、その治療応援のため神戸市民病院に、町田市民病院の医師・看護師の派遣も実施しました。



写真：崩壊した橋とのり面が全面改修中

川西町の水害では、道路や橋梁の被害も大きく、1年を経過した段階でも復旧を終えておらず、道路の整備、橋の架け替え工事が進められている段階でした。「無所属」会派では、町田市の支援内容を現地で確認することと、災害復旧工事の進展状況、被害を受けたダリア園の復旧状況の現地視察を行いました。

◎一般質問は、議員個人と行政のやり取りです。石坂市長の時代になって本人が答弁をせず、決して好ましくはありませんが、部長のみが答えるケースが増大しています。

会議における行政の発言は、部長答弁としても市長の責任が無くなるものではありません。

## 住民請願：小・中学校の存続を求める請願

請願提出にあたって、紹介議員の署名をする

町田市は小中学校の整理統廃合の方針を出し、それを強力に進めています。国ではクラスを定員40人から35人に引き下げる前提で計画を進めてきましたが、果たして国が求める少人数学級の考えに沿って町田市は統廃合を見込んでいるのか、言えないだろうと考えてきました。

一方で、町田市は将来の人口予測を、個々の事象を捨象した国の統計資料を基にした一般的推定で単純にとらえをおり、町田市のモノレール計画も小田急多摩線の延伸構想、鶴川駅改修の実現による人口増も十分には勘案せずに、学校の整理統廃合計画を単純に進めてきました。



写真：廃校計画が進められる南成瀬小学校

さらに、町田市は効率的のみの立場から、小学校では1学年のクラス数が3クラスを下回らない規模以上で編成するように求めており、2クラスの学校は廃校の対象にしていますが、これから小学校はきめ細かい教育が期待されている状況であり、日本全体の教育の趨勢とは町田市の在り方は反対の方向に進んでいると思われる。そうした立場から、この間に議会に提出された当該地区の小中学校の廃校に反対し、存続を求める趣旨の請願に、「無所属」会派は、賛成の立場で署名、あるいは委員会や本会議で必要な発言と賛成表明をしています。